

「思い込みを捨てる」そして「持続可能性」

藤山建築デザイン事務所 藤山信博

私がデザイン（設計）をする上で多大な影響を受けたのが学生時代からの放浪の旅です。四半世紀以上前からですが、今で云うところのバックパッカーです。世界数十カ国五大陸にわたり、特に開発途上国を旅しました。砂漠や、山岳地帯、亜熱帯の建築。所謂バナキュラー建築（風土的建築）と呼ばれているものです。その土地の材料を使用し、気候に適した造形は大変興味深いものでした。しかしそれだけでは説明がつかないほど、そこに住む人の誰もがとても幸せそうなのです。建築は、無意識のうちに人々に影響を与え続けています。「人の幸せとは何なのか」「建築が人の幸せをどう助けられるのか」疑問を持ちながらの旅でした。それらの建築が、人を幸せにしているのは、気候に即しているだけでなくその地域や文化に即した建築だからだという思いに至りました。なにより生活から自然と導き出された空間は、自由に楽しく暮らしていけます。それが、何世代も渡って持続できる建築ではないでしょうか。構法や素材やエコも大切ですが、いかに丈夫で、過ごしやすくともそこに住まう人を無視すれば決して持続可能な建築にはなれません。今や日本中に蔓延する同じような間取りと造形。素材や見栄えだけの違うモデルハウス。それが全ての人に当てはまるでしょうか。たいていの人々は今までの見聞きした経験を基にして判断や、決定を行います。今までの建築しか判断基準がありません。それが適する人もいればそうでない人もいます。人の思い込みを緩やかに溶かし、本当に必要な生き方に即したものを導き出す。それは、今まであったデザインかもしれませんし、これまでにないデザインかもしれません。それが持続性あるものならば未来のスタンダードになるはずです。現代の日本人の生活は、趣味や仕事に多種多様です。生き方をデザインするには「思い込み」を捨てることからスタートさせます。

つまり私が考えるデザインにおいて重要と考える点が2つ。それは、「思い込みを捨てる」そして、「持続可能性」です。昨今、耐震性やエコなど話題になっています。エコ時代だからこそ、効率よく光や風を取り入れる事が重要視されています。しかしこれらは、当然であって宣伝することでもないと思っています。デザイン上それらはクリアされなければならないものですが、大切なのは思い込みを捨ててデザインをすることです。それはそんなに難しいことはありません。頭の中をニュートラルにして、生き方に真摯に向き合い必要な条件をシンプルに抽出することです。そしてそのデザインが、持続可能性を持っているかどうか模索することなのです。

例えば、住宅をデザインする際、単に家族人数によって箱数（部屋数）を決めていませんか。この3LDKや、4LDKという考え方自体、思い込みかもしれません。ある家族には、プライバシーさえ守られていれば、もっと大らかな空間構成のほうが良い場合もあるはずです。もちろん小部屋に分けることもあります。孤立や分裂を促すものであってはならないと思います。最初に考えるのは、部屋数ではなく、家族の生き方や、趣味等が表現できる空間づくりだと思います。それらの空間は結果的に個性的な空間や外観を形づくり、持続可能性へと繋がります。無理矢理奇抜な形をつくるではありません。建築雑誌では、とても個性的で奇抜な形態の建築が発表されています。しかし、今しか通用しないコンセプトや採光、通風を考えていない見栄えだけの建築では、将来へ持続性あるものとは言えません。これはエコについても言えます。本当のエコとは、太陽光発電や高効率給湯器の設置ではなく、家族各世代が長期にわたり住宅を使用することで、解体に伴う廃棄物の排出を抑制し環境への負荷を低減する事だと思います。そのために思い込みを捨てることでのみ、それぞれの家族に適したデザインを発見できるのです。では店舗デザインはどうでしょう。それは「人を惹きつける仕掛け創り」が店舗デザインだと考えます。見た目のカッコよさ素材も重要ですが、クライアントの意向を表現する仕掛け創りが鍵です。クールな空間にしたいからメタル素材。自然を表現したいから木素材。こんなことは、空間デザインからすれば最後に考えることで、最初は、実はどうでもいいことです。例えば、アパレルメーカーのショップをデザインするとします。そのメーカーの服は薄くて軽く、いかにも着心地良さそうだとします。これを今までの思い込みで、他店と同じようにマネキンに着させ内装を綺麗にデザインしても、客に「着てみたい」と思わせるような仕掛けにはなりません。それより、その服の特性を活かすため、宙に浮かせ、風をあて、フワフワ、サラサラ、「ああ着てみたい！」と感じさせる、薄さや軽さ、肌触りの良さを表現するデザインの方が重要です。そしてそのデザインが強調されるための内装素材をここで決めていくのです。結果的に他店との差別化ができるでしょう。

デザインの考え方は多種多様あります。私は信じて疑いません。真のデザインは、人を幸せにする力があることを。